

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年5月11日		記入者		連絡先	461
平成18年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
平成19年度部名	土木部		課名	津久井建設課	課長名	平本 悟
事務事業名	寄付道路の舗装整備工事					
予算上の事務事業名	道路舗装整備事業（市内一円）					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	32210		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第2章 質の高い都市基盤の整備を進めます					
基本施策名	第2節 安全でゆとりある道路の整備					
施策名	第1施策 人にやさしいみちづくり					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼			5 事業開始年度	▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）	
交通安全を確保し維持管理の軽減を図るとともに快適な生活環境にするため、砂利道の舗装整備を行なう。					歩行者、自転車、自動車	
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
道路舗装整備工事（市内一円） 20,960千円						
8路線 8箇所 工事延長 754.6m						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	20,960	14,500	32,000	
一般財源	0	0	20,960	14,500	32,000	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	4,025	4,025	4,025	
事業コスト合計	0	0	24,985	18,525	36,025	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 （主たる事業名）	道路舗装整備工事（市内一円）			対象名称 と単位	整備延長（m）	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト（主たる事業）	0	0	24,985	18,525	36,025	
対 象 数	0	0	754	730	900	
単位あたり経費（円）	#DIV/0!	#DIV/0!	33,137	25,377	40,028	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.77	1.58	
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの						

指標名と単位	要望処理率	指標式と指標の説明	要望処理件数 / 要望受付件数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	90.1		
目標	0.0	0.0	90.0	90.0	90.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.1		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	工事実績率	指標式と指標の説明	工事施工件数 / 工事予定件数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	100.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		地域事情に合わせた舗装整備が行われ、市道利用者の安全性及び利便性の向上が図れた。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
要望時に隣接地権者の承諾を添付してもらおう等、早期執行が可能な体制を確保する。			要望者と隣接地権者でニーズの相違がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・事業の実施及び内容について特に問題がなく、現状維持とする。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			